

ユーザーズガイド for Windows



改版履歴

改版No.	ページNo	変更内容	日時
1		制定	2014/10/29
2	全般	機能改良に伴う画像の変更	2015/3/26
2	27,28	端末変更・使用者変更時の 情報更新手順追加	2015/3/26
2	43	警告設定一覧を追加	2015/3/26
3	35	端末が30日以上外部ネットワークに接続 されない場合の注意事項追記	2015/4/30
3	52	よくあるご質問（FAQ）のリンク追記	2015/4/30
4	全般	機能改良に伴う画像と語句の変更	2015/9/30
5	9-13,32	項目名変更に伴う修正	2015/12/7
6	全般	機能改良に伴う画像・文言変更	2016/3/24
6	9	表示項目の設定手順を追加	2016/3/24
6	34	自動アップデートについて追記	2016/3/24
6	36-39	位置情報取得時に端末側で必要な設定を追記	2016/3/24
6	55-56	警告レポートメールの送信先設定手順を更新	2016/3/24
6	11,35,43,44, 46,53,61	2016/3/23以前からご利用のお客様へのご案内を追記	2016/3/24
7	38,41	Wi-Fiの有効化方法を追記	2016/6/6
8	全般	バージョンアップ対応に伴う画像や文言の変更	2016/9/27
8	49	不許可アプリ設定の仕様を追記	2016/9/27
9	7	機能追加に伴う画像の変更	2016/12/21
10	20	ボタン名などの誤表記を修正	2018/3/19

目次

announce

1. 管理・運用に役立つ各種設定 (p.5)
 - 1-1 管理・運用に役立つ各種設定 (p.6)
 - 1-2 管理画面の表示内容 (p.7)
 - 1-3 Windowsで設定可能な項目一覧 (p.10)
 - 1-4 各設定の適用範囲について (p.12)

guide

1. 各部門、各部署の責任者が使えるように設定する (p.16)
 - 1-1 アカウントを1つずつ設定する (p.17)
 - 1-2 アカウントを一括設定する (p.20)
 - 1-3 アカウント設定を変更する (p.21)
2. 会社の組織情報を設定する (p.23)
 - 2-1 部署を新規に作成・設定する (p.24)
 - 2-2 部署を削除する (p.25)
 - 2-3 部署名を変更する (p.26)
 - 2-4 部署を一括編集する (p.27)
 - 2-5 端末変更/削除、使用者変更の際に情報を更新する (p.29)
3. 業務時間を設定する (p.31)
4. 取得するログの内容を設定する (p.33)
5. アラート操作内容を設定する (p.42)
6. 会社として許可/不許可のアプリを設定する (p.47)
 - 6-1 新たにインストール情報が取得されたアプリの分類設定をする (p.48)
 - 6-2 インストールされたアプリの許可レベルを設定する (p.49)
 - 6-3 インストールされたアプリの許可設定を一括編集する (p.50)

7. 端末のセキュリティ基準を設定する (p.52)
8. 警告レポートメールの配信設定をする (p.56)
9. ログの一括出力設定をする(p.59)
 - 9-1 ログ出力条件を設定する (p.60)
 - 9-2 ログを出力してダウンロードする (p.61)
10. 意図しないアンインストールが発生しないように設定する (p.62)

お問い合わせ先 (p.64)

管理・運用に役立つ各種設定

管理画面にログインできるアカウントの追加/変更/削除/インポートおよび権限設定を行います。

- 1-1 管理・運用に役立つ各種設定
- 1-2 管理画面の表示内容
- 1-3 Windowsで設定可能な項目一覧
- 1-4 各設定の適用範囲について

announce

1

管理・運用に役立つ各種設定

1-1

LanScope Anに関する様々な設定は、「管理設定」から可能です。



管理設定

A:管理者設定

①:アカウント設定

管理画面にログインできるアカウントの追加/変更/削除/インポートおよび権限設定

②:端末登録設定

管理する端末情報を登録 ※詳細はスタートアップガイドをご覧ください。

③:アンインストール防止設定 ※Android/Windows端末のみが対象の機能です。

管理者の意図に反して、アンインストールできないようにパスワードを設定

④:パスワードポリシー設定 ※Android/iOS端末のみが対象の機能です。

端末に設定するパスワードのルールを設定

B:DEP設定

※iOS端末のみが対象の機能です。

①:DEPサーバー設定

DEPサーバーの登録・同期 ※詳細はDevice Enrollment Program(DEP)機能ガイドをご覧ください。

②:DEP端末設定

DEPプロファイルの登録・割当て

C:運用設定

①:組織情報変更

スマートデバイスの管理組織の作成

②:ログ取得設定

端末から取得する資産・操作情報の設定

③:アラート設定

②で取得設定した情報の中で管理したい情報の設定

④:不許可アプリ設定

アプリ管理ルールの設定

⑤:業務時間設定

プライベートな時間は情報を取得しないように業務時間や業務曜日を設定

⑥:警告設定

セキュリティリスクの警告基準を、自社の運用にあわせて設定

D:プロファイル管理

※iOS端末のみが対象の機能です。

①:プロファイル登録

作成したプロファイルの登録

②:プロファイル配信

登録したプロファイルを端末に配信

E:個人運用設定確認

①:ログ一括出力設定確認

アカウントごとに設定されたログ一括出力設定の内容を確認

②:メール配信設定確認

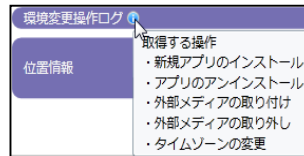
警告設定に抵触する状態や操作のあった端末のレポートメールの配信設定を確認

管理画面の表示内容

1-2

管理画面全体に関する操作方法を確認します。

- 各画面に表示されているアイコンにマウスカーソルをあわせると、詳細情報を確認できます。



- 画面上に表示されているOSをタブで確認及び切り替えることができます。

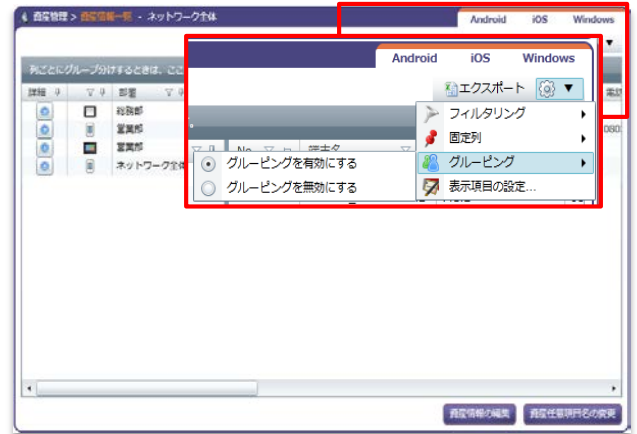


タブ	説明
	Android/iOS/Windows を切り替えることができます (該当画面：端末登録設定/インストールアプリ一覧など)
	OSが混在している画面です (該当画面：資産情報一覧/最新位置情報など)
①	特定のOSのみ切り替えが可能な画面です (該当画面：①アンインストール防止設定/②パスワードポリシー設定など)
②	
③	特定のOSのみ表示可能な画面です (該当画面：③プロフィール登録/④端末別活用レポートなど)
④	

- 資産情報一覧などの画面は項目ごとにグルーピング(グループ分け)をすることができます。条件に合致する端末を見つけない時に便利です。

(例)営業部に割り当てられている各OSの台数を調べる場合

- 「資産管理」から「資産情報一覧」を開きます。
- 画面右上の歯車アイコンから「グルーピング」
「グルーピングを有効にする」を選択します。



- 上部に「列ごとにグループ分けするときは、ここに列ヘッダーをドラッグします」という領域が表示されますので、ここにグループ分けをしたい列ヘッダー(項目名)をドラッグします。

ここでは「部署」をドラッグして領域上で離します。

- 「部署」ごとにグループ分けが行われました。さらに「営業部」を▶で展開し、「OSタイプ」をドラッグして領域上で離します。



- 「部署」と「OSタイプ」でグループ分けができました。

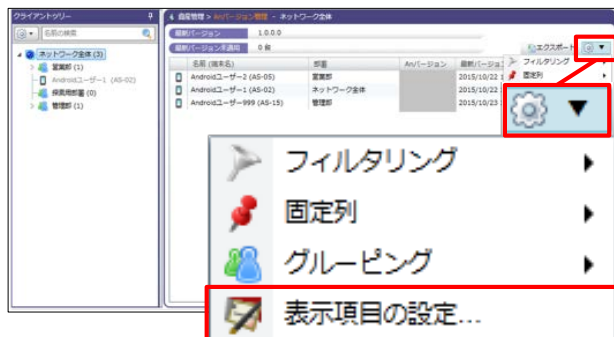
営業部にはiOSが1台、Windowsが1台あることを確認することができました。



- 次の手順で、画面上の列（項目）を並べ替える / 表示・非表示を切り替えることができます。

1. 各画面右上に表示されている歯車アイコンをクリックして「表示項目の設定」をクリックします。

【例：Anバージョン管理画面】



2. 「列の選択」画面で、次の設定が可能です。

- ①のアイコンをドラッグすることで、画面上の列（項目）の表示順番を並べ替えることができます。
- ②のチェックを入れたり外したりすることで画面上の列（項目）の表示 / 非表示を切り替えることができます。



Windowsで設定可能な項目一覧

1-3

Windowsで設定可能な項目とデフォルト設定内容は以下のとおりです。
設定内容は各設定手順を参考に、自由に変更してください。

■ ログ取得設定

設定可能な項目	デフォルト設定
資産情報を取得する	取得する
インストールアプリ情報を取得する	取得する
位置情報を取得する	取得する（3分間隔で取得する） ・業務時間のみ取得する

■ 資産アラート設定

設定可能な項目	デフォルト設定
端末が一定の期間以上稼働しなかったらアラートとする	設定する(30日以上)
空き容量が少なくなったらアラートとする	設定する(25%以下)
リース有効期限が近づいたらアラートとする	設定する(0日前)
リモートワイプの実行条件を満たしていなかったらアラートとする ※	設定する
位置情報サービスが無効になっていたらアラートとする	設定する
不許可アプリがインストールされていたらアラートとする	設定する
必須アプリがインストールされていなかったらアラートとする	設定する

※ … Windows 8.1 / Windows 10 Homeでは対応していません。
(LanScope Anの対応エディションについては別紙「スタートアップガイド for Windows」を参照してください)

■ 業務時間設定

設定可能な項目	デフォルト設定
業務時間	9 : 00～18 : 00
業務曜日	月/火/水/木/金
休日設定	設定しない
業務日設定	設定しない

●2016/3/23以前からLanScope Anを利用している場合は、次の項目が表示されます

- **青太字部分** : Anクライアントの移行(*)が完了していれば利用しない項目・注釈です。移行完了前の端末でのみ利用・参照してください。
- **赤太字部分** : Anクライアントの移行(*)が完了している場合、仕様が異なります。移行が完了している端末の仕様については、前ページを確認してください。

*注釈 : 2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

■ログ取得設定

設定可能な項目	デフォルト設定
資産情報を取得する	取得する
インストールアプリ情報を取得する ★※	取得する
位置情報を取得する ★※	取得する (3分間隔で取得する) ・業務時間のみ取得する

★ … Anクライアント(デスクトップ)が端末にインストールされている必要があります。

※ … Windows RT 8.1は対応していません。

(LanScope Anの対応エディションについては別紙「スタートアップガイド for Windows」を参照してください)

■資産アラート設定

設定可能な項目	デフォルト設定
端末が一定の期間以上稼働しなかったらアラートとする	設定する(30日以上)
Anクライアント(Windowsストア)が稼働していなかったらアラートとする	設定する
Anクライアント(デスクトップ)が稼働していなかったらアラートとする ※	設定する
端末が管理外になっていたらアラートとする ☆	設定する
空き容量が少なくなったらアラートとする	設定する(25%以下)
リース有効期限が近づいたらアラートとする	設定する(0日前)
リモートワイプの実行条件を満たしていなかったらアラートとする ★◆	設定する
位置情報サービスが無効になっていたらアラートとする ★※	設定する
不許可アプリがインストールされていたらアラートとする ★※	設定する
必須アプリがインストールされていなかったらアラートとする ★※	設定する

★ … Anクライアント(デスクトップ)が端末にインストールされている必要があります。

☆ … Anクライアント(デスクトップ)、またはAnクライアント(Windowsストア)が端末にインストールされている必要があります

※ … Windows RT 8.1では対応していません。

◆ … Windows 8.1およびWindows RT 8.1では対応していません。

(LanScope Anの対応エディションについては別紙「スタートアップガイド for Windows」を参照してください)

■業務時間設定

設定可能な項目	デフォルト設定
業務時間	9 : 00~18 : 00
業務曜日	月/火/水/木/金
休日設定	設定しない
業務日設定	設定しない

各設定の適用範囲について

1-4

各設定内容は、組織全体や部署単位で適用することができます。

ここでは、その適用範囲の設定方法について紹介します。

※組織構成を編集する場合は「会社の組織情報を設定する」(p.23)を参照してください。

■設定内容を適用する範囲を決めることができる項目

管理設定 …… ログ取得設定 / アラート設定 / 不許可アプリ設定 / 業務時間設定

A. 設定を組織(ネットワーク)全体に適用する

1. 管理設定にある各設定画面の部署ツリーから「ネットワーク全体」を選択します。

【部署ツリー】



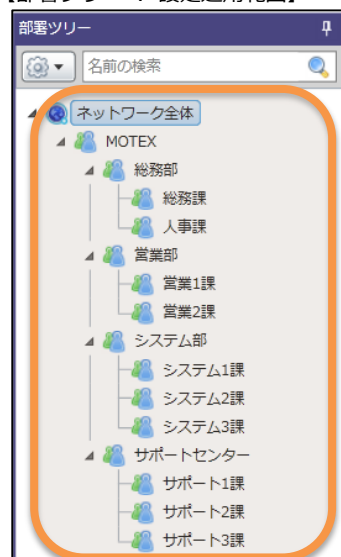
2. 右画面の「変更」をクリックして各設定内容を決定し、OKをクリックします。※各設定内容の詳細は、この後の各章を確認してください。

【右画面（サンプル：ログ取得設定画面）】



3. ネットワーク全体配下の全ての部署に設定内容が適用されます。

【部署ツリー：設定適用範囲】



B. 設定を部署単位で適用する

1. 管理設定にある各設定画面の部署ツリーから設定したい部署を選択します。

【部署ツリー】



2. 右画面の「新規」（もしくは「変更」）をクリックして各設定内容を決定し、OKをクリックします。※各設定内容の詳細は、この後の各章を確認してください。

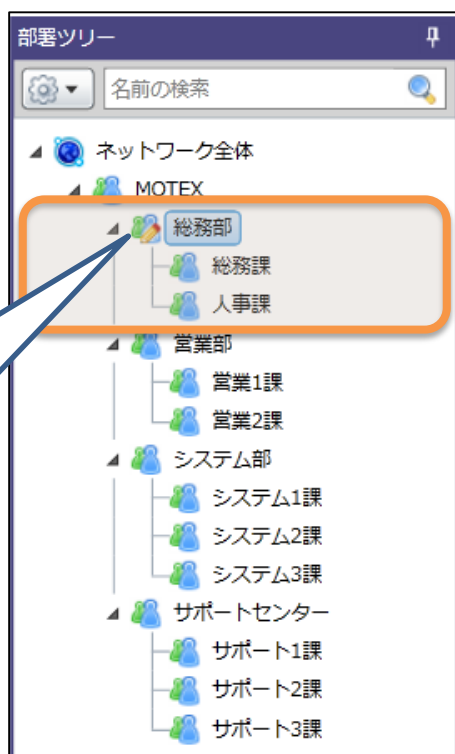
【右画面（サンプル：ログ取得設定画面）】



3. （新規作成した場合は）選択した部署のアイコンが「部署別設定適用済み」アイコンに変化し、1.で選択した部署とその配下の全ての部署に設定内容が適用されます。

右の例の場合、総務部直下、総務課、人事課に所属している端末に2.の設定が適用され、それ以外の部署には（部署別設定適用済みアイコンがついていないため）ネットワーク全体の設定が適用されます。

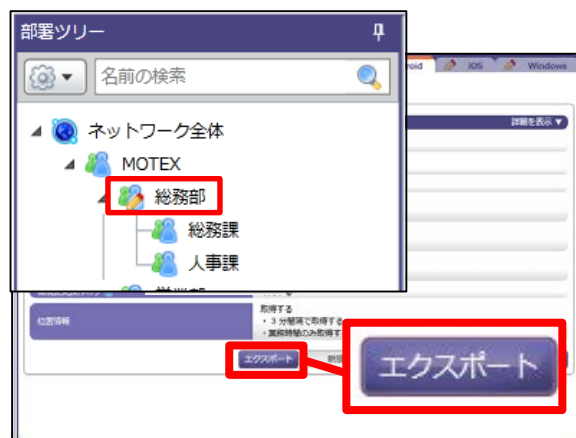
【部署ツリー：設定適用範囲】



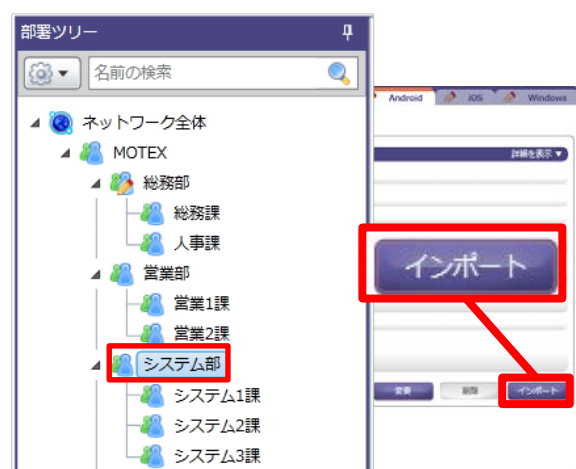
C. 他の部署の設定をインポートする

1. 管理設定にある各設定画面の部署ツリーから、反映させたい設定内容が適用されている部署を選択します。
2. 右画面の「エクスポート」をクリックして設定内容を任意の場所に保存します。必要があればエクスポートしたファイルで設定内容を編集することもできます。

【部署ツリー・右画面（サンプル：ログ取得設定画面）】

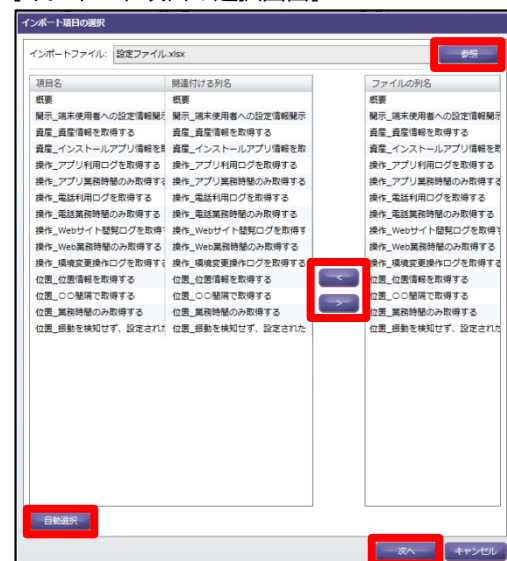


3. 部署ツリーから設定内容をインポートしたい部署を選択します。
4. 右画面の「インポート」をクリックします。



5. 「参照」をクリックして2.でエクスポートしたファイルを選択し、インポートしたい項目名とファイルの列名を「< >」で紐付けて「次へ」をクリックします。
※「自動選択」をクリックすると、同じ列名のを自動的に紐付けます。

【インポート項目の選択画面】



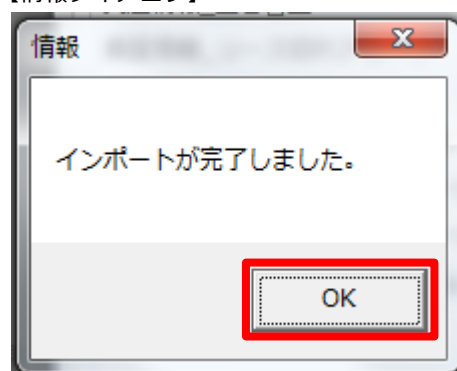
6. インポート確認画面が表示されます。インポート内容に問題がなければ「インポート」をクリックします。

【インポートデータの確認画面】



7. 情報ダイアログが表示されます。「OK」をクリックして閉じます。

【情報ダイアログ】



●ポイント

- ネットワーク全体など、上位部署に設定が適用されている場合でも、部署別の設定が優先されます。
- 部署別の設定を解除したい場合は、部署ツリーで部署を選択し、右画面の「削除」をクリックします。現在の設定内容が削除され、上位部署（もしくはネットワーク全体）の設定内容が自動的に引き継がれます。
- 部署にどの設定が適用されているかを確認したい場合は、部署ツリーで部署を選択し、右画面上部「(部署名)の設定を使用しています」を確認します。



[アカウント設定]

各部門、各部署の責任者が使えるように設定する

管理画面にログインできるアカウントの追加/変更/削除/インポートおよび権限設定を行います。

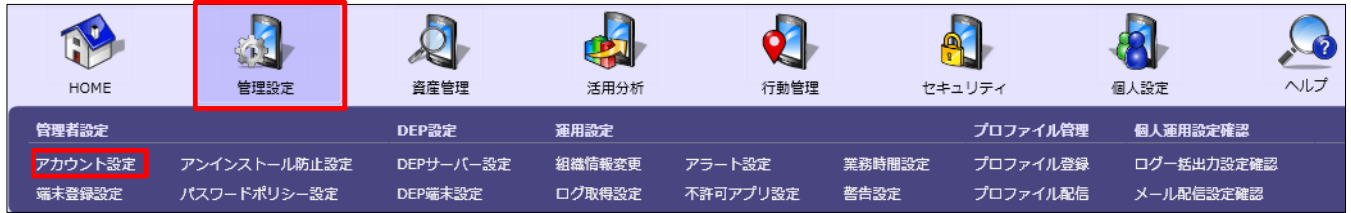
- 1-1 アカウントを1つずつ設定する
- 1-2 アカウントを一括設定する
- 1-3 アカウント設定を変更する

guide

1

アカウントを1つずつ設定する

1-1

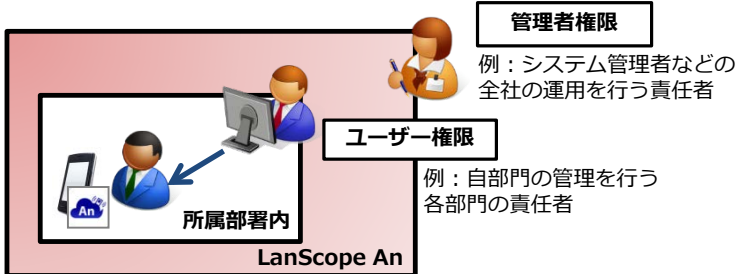


1. 「管理設定」メニューを選択し、「アカウント設定」をクリックします。
2. 画面下部にある「追加」をクリックすると、「アカウントの追加」が開きます。
3. 追加したい「アカウント（メールアドレス）」「表示名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力してください。

※パスワードは利用者本人のログイン後に変更することが可能です。パスワードは、「自動生成」をクリックすることでランダムに作成することができます。

4. 管理者権限とユーザー権限の2種類があります。アクセス権限を選択してください。

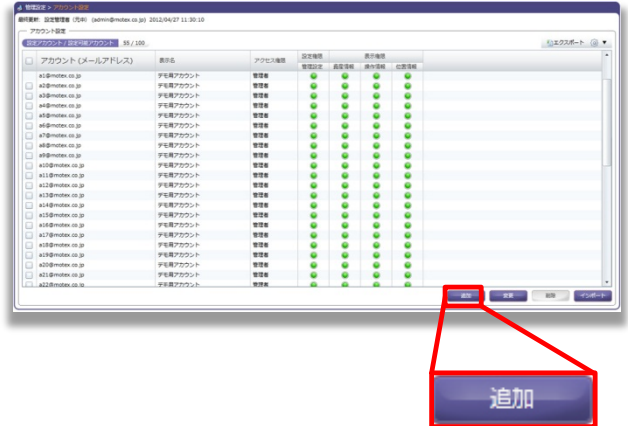
【LanScope Anのアクセス権限】



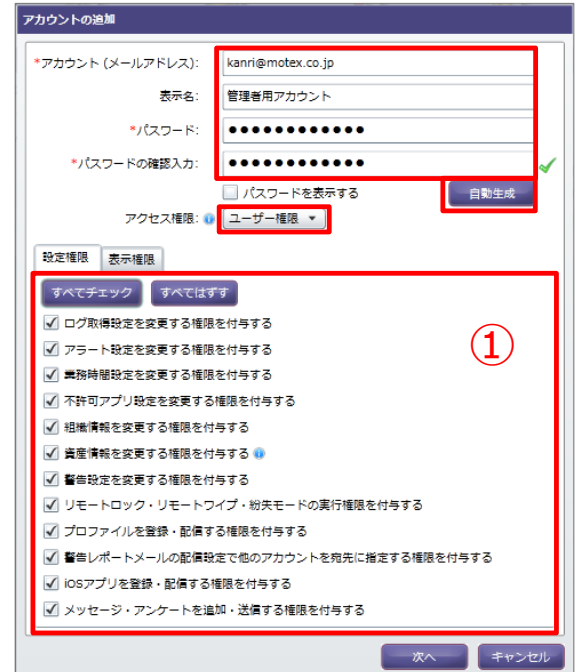
※管理者権限とユーザー権限では、右図①の「設定権限」や「表示権限」の設定可能な範囲に違いはありません。

ただし管理者権限のみ【アカウント設定/端末登録設定/アンインストール防止設定/パスワードポリシー設定(iOS・Androidのみ)/DEPサーバー設定/DEP端末設定/ログ出力設定確認/メール配信設定確認】の閲覧・設定が可能です。

【アカウント設定】



【アカウントの追加】



5. アカウント作成に必要な情報入力が完了したら、「設定権限」を設定します。
各設定項目については「■設定権限」「■表示権限」の一覧(p.19)をご覧ください。

6. 「表示権限」「設定権限」の設定が終了したら「次へ」をクリックします。

【アカウントの追加】

7. 「通知内容の設定」が開きます。必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。

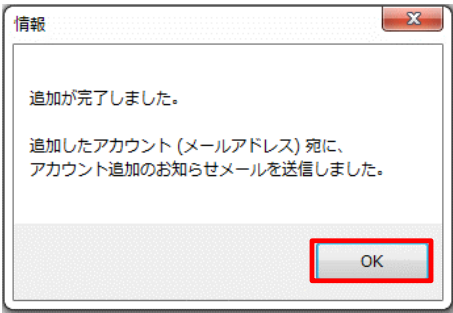
※メールを送信しない場合はチェックを入れずに「OK」をクリックして完了です。

【通知内容の設定】

8. 「通知内容のプレビュー」が表示されるので、間違いがなければ「OK」をクリックします。

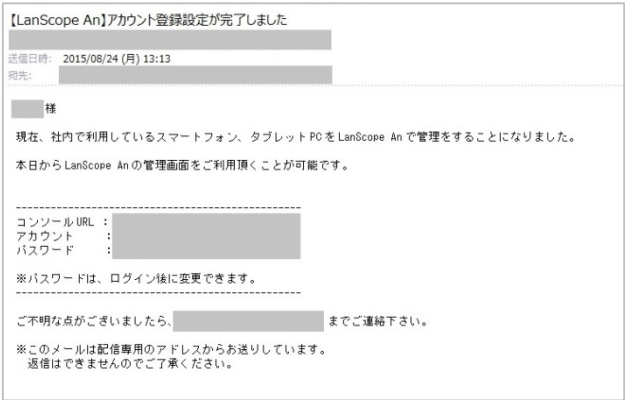
【通知内容のプレビュー】

9. アカウントの追加完了後、「追加が完了しました」という情報画面が表示されるので「OK」をクリックします。



10. 追加されたアカウントのメールアドレス宛てに、アカウント追加のお知らせメールが送信されます。

【お知らせメール例】



■ 設定権限

権限のカテゴリ	権限を付与した場合の状態
ログ取得設定を変更する権限を付与する	【ログ取得設定】画面の表示が可能です
アラート設定を変更する権限を付与する	【アラート設定】画面の表示が可能です
業務時間設定を変更する権限を付与する	【業務時間設定】画面の表示が可能です
不許可アプリ設定を変更する権限を付与する	【不許可アプリ設定】画面の表示が可能です
組織情報を変更する権限を付与する	【組織情報変更】画面の表示が可能です 部署に関するアンケートの追加・変更・送信・回答反映が可能です
資産情報を変更する権限を付与する	【資産情報一覧】画面で資産情報と資産任意項目の変更が可能です 資産情報に関するアンケートの追加・変更・送信・回答反映が可能です
警告設定を変更する権限を付与する	【警告設定】画面の表示が可能です
リモートロック・リモートワイプ・紛失モードの実行権限を付与する	リモートロック・リモートワイプ・紛失モードの実行が可能です ※紛失モードはiOSのみの機能です。
プロフィールを登録・配信する権限を付与する	【プロフィール登録】画面・【プロフィール配信】画面の表示が可能です ※iOSのみの機能です
警告レポートメールの配信設定で他のアカウントを宛先に指定する権限を付与する	【メール配信設定】画面で、警告レポートメールの宛先として全てのアカウントの指定が可能です
iOSアプリを登録・配信する権限を付与する	【アプリ配信】【VPP設定】【VPPライセンス一覧】画面の表示が可能です ※iOSのみの機能です
メッセージ・アンケートを追加・送信する権限を付与する	【メッセージ・アンケート】画面の表示が可能です

■ 表示権限

どの部署の、どの端末の、どの情報（資産、操作、位置）を閲覧するのか責任者の閲覧範囲を設定することができます。

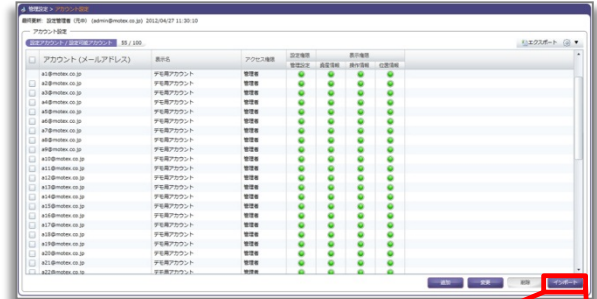
アカウントを一括設定する

1-2

1. 「管理設定」メニューを選択し「アカウント設定」をクリックします。
2. 画面下部にある「インポート」をクリックすると、「インポート項目の選択」が開きます。
3. 「参照」をクリックし、インポートしたいExcelファイルを選択すると、インポートするファイル名が①に表示されます。読み込んだファイルの1列目の列項目が②の「ファイルの列名」に表示されます。
4. ③の関連付ける列名を選択した状態で②の列名をダブルクリックもしくは「<」をクリックすると、③の選択箇所に②で選択した列名が表示されます。

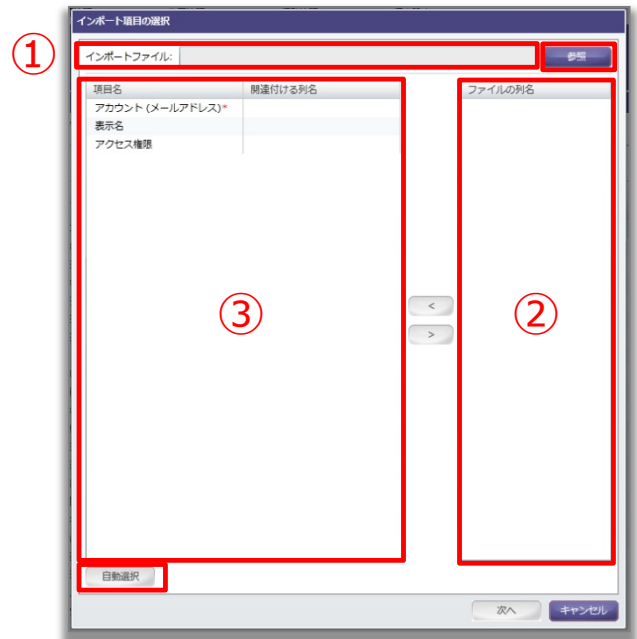
「自動選択」を選択した場合、自動で③の項目名と同じ名前の列名が②から選ばれ③の「関連付ける列名」に追加されます。
5. ②と③の関連付けが完了したら、「次へ」をクリックします。「追加アカウントの選択」が開きます。
6. インポートするアカウントのチェックボックス(④)にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
7. 「通知内容の設定」が開きますので必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。
※メールを送信しない場合はチェックを入れずに「インポート」をクリックしてください。
8. 「通知内容のプレビュー」を確認し、問題がなければ「インポート」をクリックします。追加したアカウントのメールアドレス宛てに、アカウント追加のお知らせメールが送信されます。

【アカウントの設定】

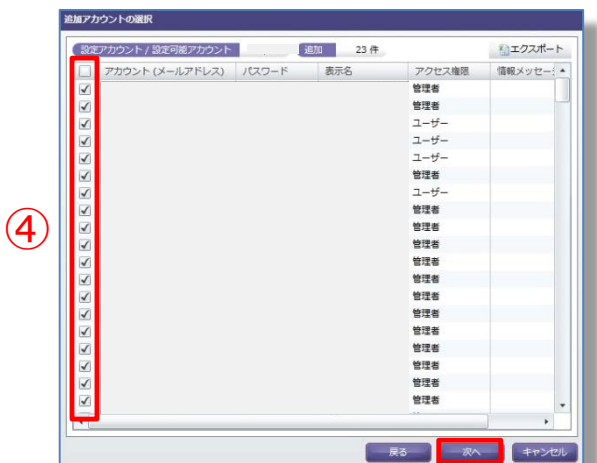


インポート

【インポート項目の選択】



【追加アカウントの選択】

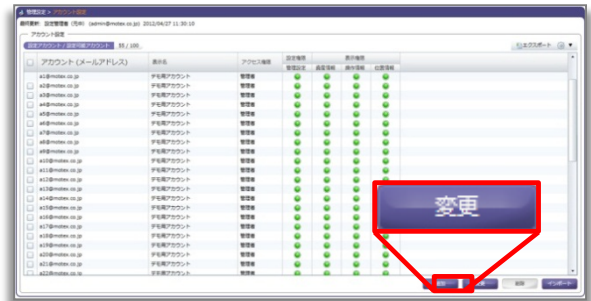


アカウント設定を変更する

1-3

1. 「管理設定」メニューを選択し「アカウント設定」をクリックします。
2. 変更したいアカウントを選択します。
3. 画面下部にある「変更」をクリックすると、「アカウント設定の変更」が開きます。

【アカウント設定】



4. 「表示名」「パスワード」「パスワードの確認入力」「設定権限」「表示権限」の各項目から変更内容を入力してください。

【アカウント設定の変更】

5. 「表示名」「設定権限」「表示権限」のみ変更の場合は「OK」で終了します。

※パスワードを変更する場合は、変更内容を入力後、「OK」が「次へ」に変わりますのでクリックします。

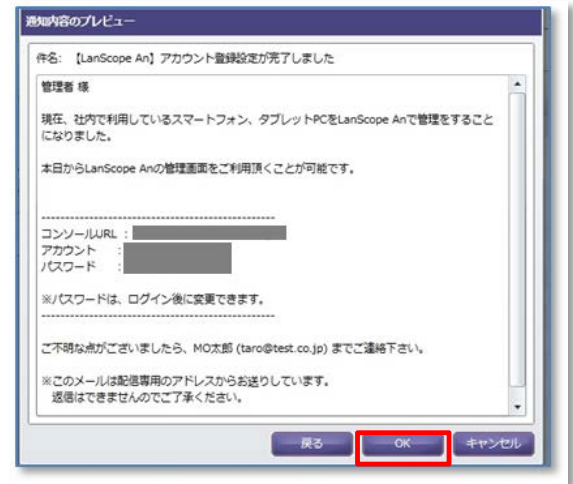
6. 「通知内容の設定」が開きます。必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。

※メールを送信しない場合はチェックを入れずに「OK」をクリックして完了です。

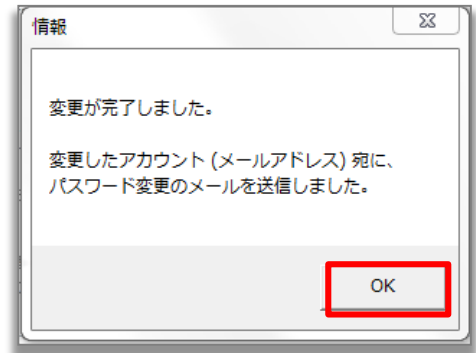
【通知内容の設定】

【通知内容のプレビュー】

7. 「通知内容のプレビュー」が表示されるので、間違いがなければ「OK」をクリックします。



8. 変更完了後「変更したアカウント宛てにパスワード変更のメールを送信しました」という情報画面が表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



[組織情報変更]

会社の組織情報を設定する

スマートデバイスの管理組織を作成できます。

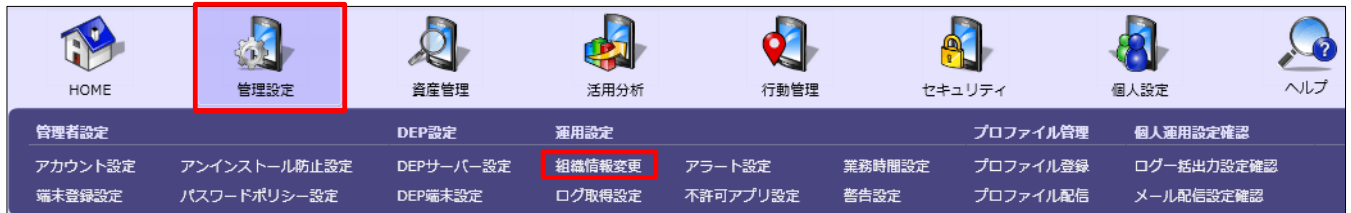
- 2-1 部署を新規に作成・設定する
- 2-2 部署を削除する
- 2-3 部署名を変更する
- 2-4 部署を一括編集する
- 2-5 端末変更/削除、ユーザー変更の際に
情報を更新する

guide

2

部署を新規に作成・設定する

2-1



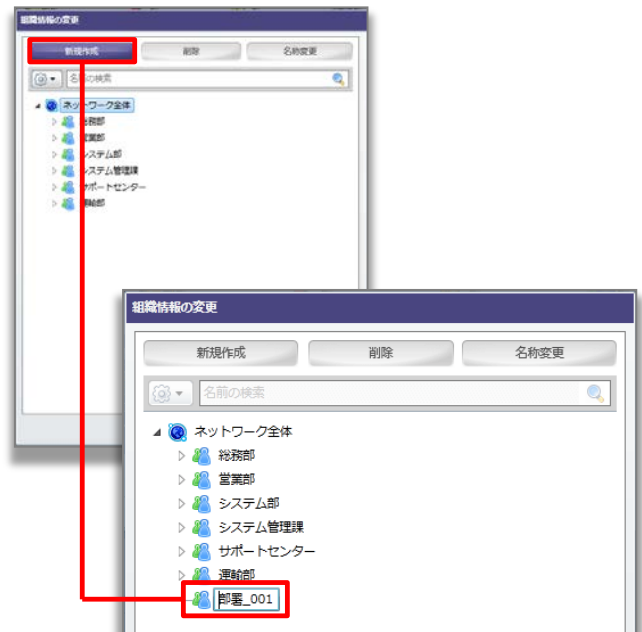
1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。

【組織情報変更】



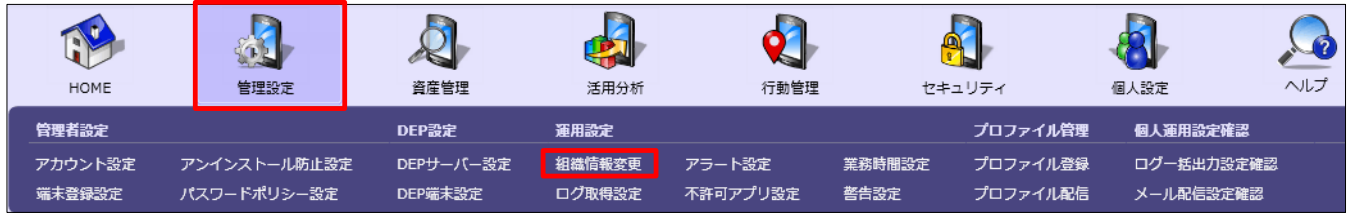
3. 「新規作成」をクリックします。
4. 「(部署_001)」と表示されるので、名称を変更し「OK」をクリックします。
5. 必要に応じて、端末・部署をドラッグアンドドロップで移動させて、組織構成を変更します。

【組織情報の変更】



部署を削除する

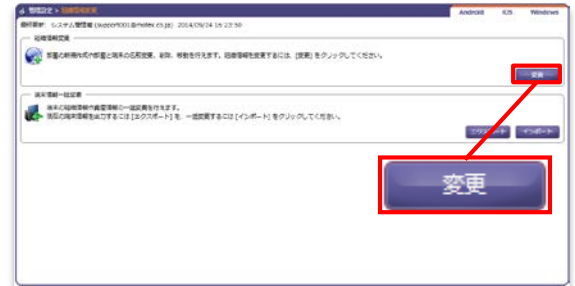
2-2



1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。

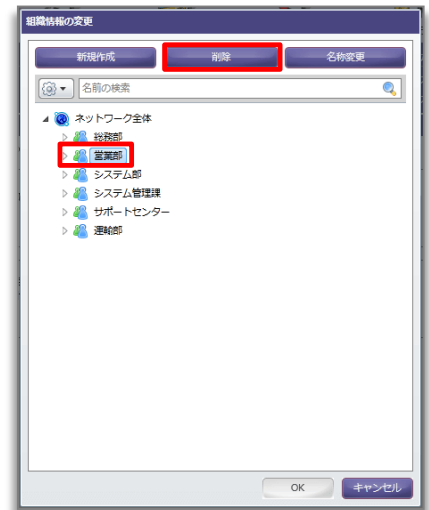
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。

【組織情報変更】



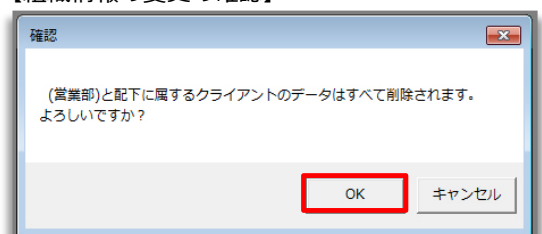
3. 削除したい管理端末もしくは部署名を選択し、「削除」をクリックします。

【組織情報の変更】



4. 確認ダイアログが表示されるので、問題ない場合は、「OK」をクリックします。

【組織情報の変更の確認】

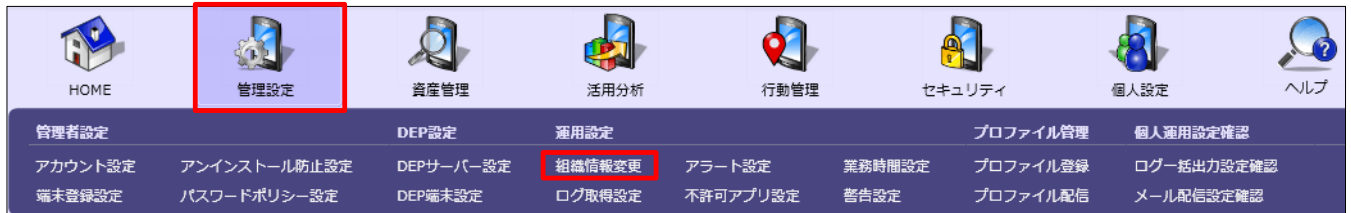


※注意事項

- ・ 部署を削除すると部署に所属する端末の全データが削除されます。
- ・ 端末を削除すると、その端末の情報は閲覧できなくなります。
- ・ 削除した端末に使用していたライセンスは、別の端末に割り当てることができます。

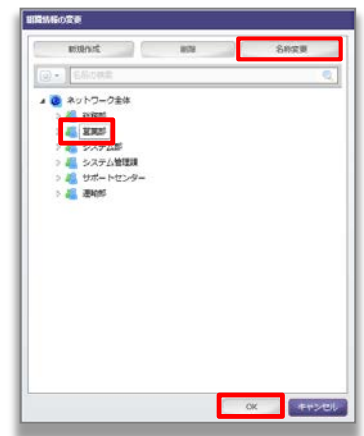
部署名を変更する

2-3



1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。
3. 名前を変更したい管理端末もしくは部署名を選択し「名称変更」をクリックします。
4. 変更後の名称を入力し、「OK」をクリックします。

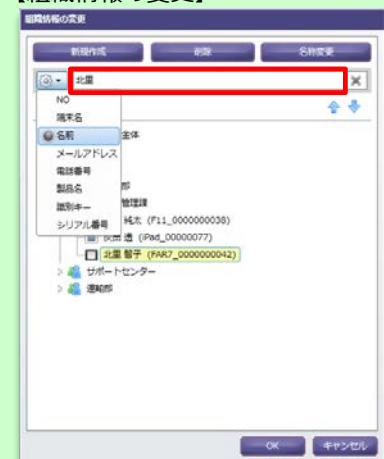
【組織情報変更】



●ポイント

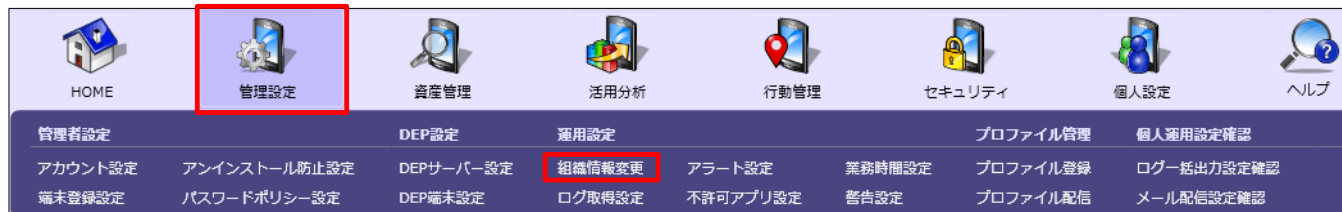
端末がどの部署にあるかわからない場合は、検索機能がおすすめです。検索項目を設定し、検索キーワードを入力するだけでどの部署で管理している管理端末かわかります。

【組織情報の変更】



部署を一括編集する

2-4



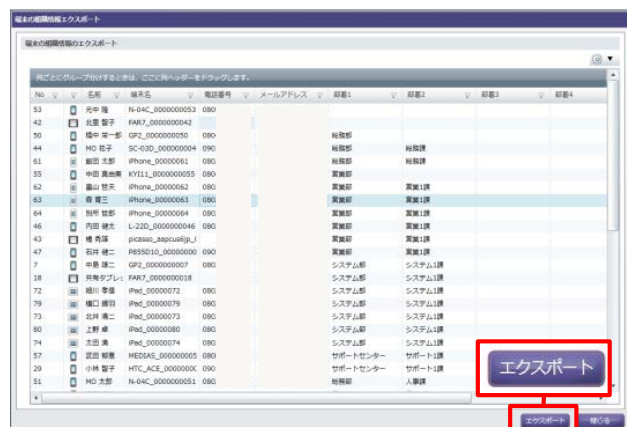
【組織情報変更】

1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「エクスポート」をクリックすると「端末の組織情報エクスポート」が開きます。



3. 「エクスポート」をクリックして任意の場所にファイルを保存します。
4. 保存したファイルの部署1～5をExcel上で編集して保存します。

【端末の組織情報エクスポート】



※次ページに続きます。

5. 1.の画面で「インポート」をクリックすると「端末情報インポート項目の選択」が開きます。

【組織情報変更】



「参照」をクリックして4.で編集したファイルを選択し、インポート項目について、以下をそれぞれ設定します。

①部署情報の削除設定

インポートすることで、現存する部署に所属する端末がなくなった場合に、その部署を削除するかどうかを選択します。

②端末を一意に特定する項目の選択

「組織情報」と、「インポートファイル」を紐付けるための項目を「<」「>」ボタンで選択します。紐付けが成立した端末のみ、③で選択した項目が更新されます。

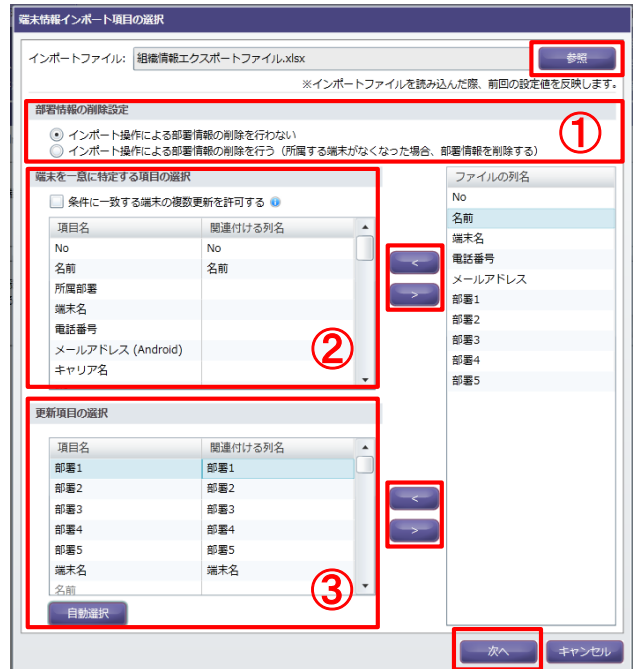
また、「条件に一致する端末の複数更新を許可する」で、紐付けが成立する端末が複数あった場合に、その全ての端末の情報を更新するかどうかを選択します。

③更新項目の選択

更新する項目を「<」「>」ボタンで選択します。「自動選択」で自動的に選択することができます。

「次へ」をクリックすると確認ダイアログが表示されますので、問題なければ「OK」をクリックします。

【端末情報インポート項目の選択】



端末変更/削除、使用者変更の際に 情報を更新する



◆機種変更など、端末の入替えが発生した場合

元々利用していた端末の情報をLanScope Anから削除し、新しい端末のためのライセンスを確保します。

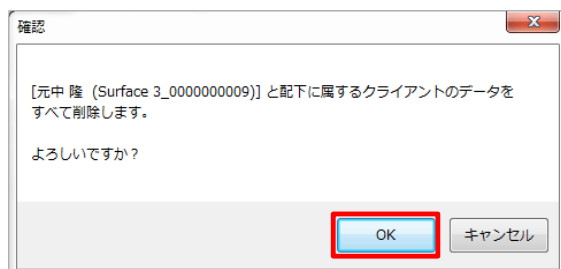
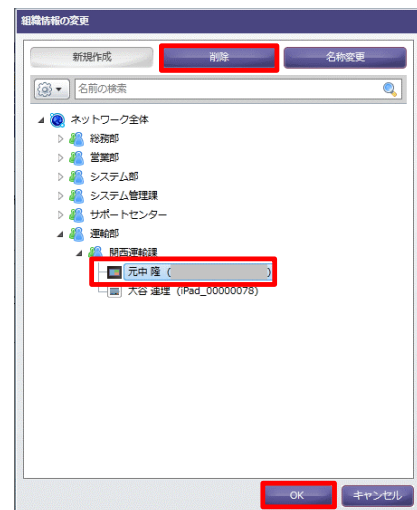
1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。
3. 削除したい管理端末を選択し、「削除」をクリックします。
4. 確認メッセージがダイアログで表示されるので、問題無い場合は「OK」をクリックします。
5. ライセンス確保後、新しい端末の端末登録設定、およびプログラムのインストールを実施します。

利用していた端末からLanScope Anのプログラムをアンインストールする場合は「アンインストールガイド for Windows」を、端末登録設定・インストール手順は「スタートアップガイド for Windows」を参照します。

【組織情報変更】

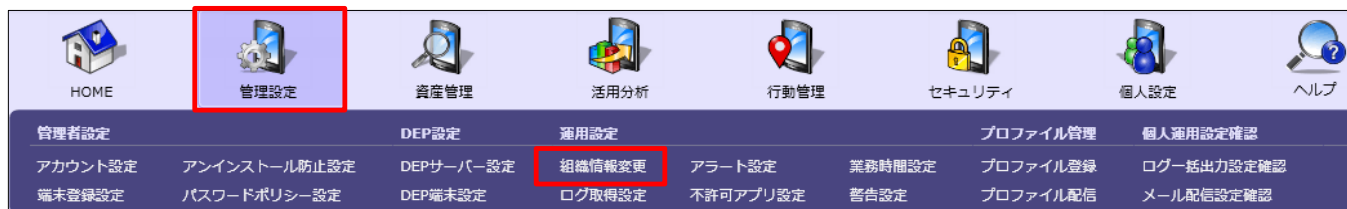


【組織情報の変更】



※注意事項

- 端末の入れ替え等で管理対象でなくなった端末は、管理コンソール上からは自動的に削除されません。別の端末にライセンスを割り当てるためには、この手順で管理対象外の端末を削除する必要があります。
- 端末を削除すると、その端末の情報は閲覧できなくなります。



◆端末の使用者が変更になった場合

端末使用者の名前を編集します。

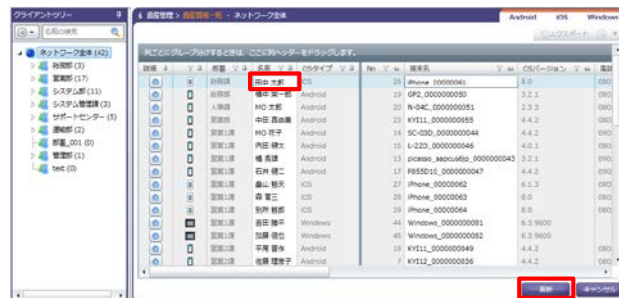
1. 「資産管理」メニューを選択し「資産情報一覧」をクリックします。
2. 画面右下の「資産情報の編集」をクリックすると、編集画面に切り替わります。

【資産情報一覧】

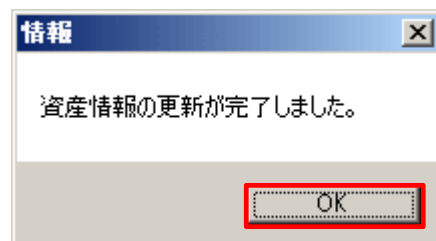


3. 「名前」を新しい使用者に書き換えて、「更新」をクリックします。

【資産情報一覧】



4. 情報ダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。



[運用設定]

業務時間を設定する

業務時間や業務曜日を設定することで、プライベートな時間は情報を取得しないといった運用が可能となります。

3-1 業務時間を設定する

guide

3

業務時間を設定する

3-1



業務時間と業務曜日の設定をします。

1. 「管理設定」メニューを選択し、「業務時間設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「業務時間設定の作成（変更）」画面が開きます。
※部署別設定が未作成の部署のみ「新規」を選択できます。
4. 以下の通り設定を行ないます。

【業務時間設定】



【業務時間設定の変更】



- ① **メモ**：設定内容の概要を記載する際に利用します。
- ② **業務時間**：業務時間を設定します。
開始時刻と終了時刻を設定してください。
- ③ **業務曜日**：業務曜日を設定します。
業務曜日にチェックを入れてください。
- ④ **休日設定**：業務曜日ではあるが、休日に指定したい特定の日はあれば追加します。
- ⑤ **業務日設定**：業務曜日ではないが、業務日に指定したい特定の日はあれば追加します。

5. 「OK」で設定を保存します。

■ 業務時間設定

カテゴリ	概要
メモ	設定内容の概要を記載する
業務時間	管理端末から情報を取得する時間帯の設定
業務曜日	管理端末から情報を取得する曜日の設定
休日設定	管理端末から情報を取得しない日の設定
業務日設定	管理端末から情報を取得する日の設定

[ログ取得設定]

取得するログの内容を設定する

資産情報や各種ログ等、端末から情報を取得するかしないかに関する設定を行います。

4-1 取得するログの内容を設定する

guide

4

取得するログの内容を設定する

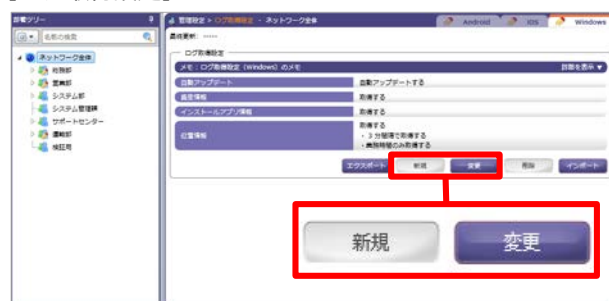
4-1



【管理コンソール側で必要な設定】

1. 「管理設定」メニューを選択し「ログ取得設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「ログ取得設定の作成（変更）」が開きます。
※部署別設定が未作成の部署のみ「新規」を選択できます。
5. メモ欄に任意で設定内容の概要を記載して「資産」「位置」ごとに設定を行います。
※位置情報を取得する場合は、Windows端末側で後述の設定が必要です。
6. 「OK」で設定を保存します。

【ログ取得設定】



【ログ取得設定の変更】



■ ログ取得設定

チェック項目	説明
自動アップデートする(推奨) /アップデートしない	新しいバージョンがリリースされた際、端末側のAnクライアントを自動アップデートするかどうかを設定します。 LanScope Anでは部署ごとに別の設定内容を適用することができます(p.12)ので、自動アップデートしたくない端末がある場合は、その部署に「アップデートしない」設定を適用してください。自動アップデートのほかに、Anクライアントを上書きインストールする方法でのアップデートも防ぐことができます。
資産情報を取得する	端末の資産情報を取得します。
インストールアプリ情報を取得する	端末にインストールされているアプリの情報を取得します。 ※Windows端末に複数のアカウントが存在する場合、全アカウント分のアプリ情報を取得します。
位置情報を取得する	<ul style="list-style-type: none"> ・位置情報を前回取得から何分後に取得するか設定できます（1分・3分・10分・30分・1時間・3時間）。 ・「業務時間のみ取得する」を選択すると業務時間外は位置情報を取得しません。 ・端末がスリープ状態の場合、位置情報は取得できません。

●2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合はご確認ください

2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合で、Anクライアントの移行を行っていない端末(*)の場合、ログ取得設定の説明は次のとおりです。

*注釈：2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

■ログ取得設定

チェック項目	説明
自動的アップデートする(推奨) /アップデートしない ☆	新しいバージョンがリリースされた際、端末側のAnクライアントを自動アップデートするかどうかを設定します。「アップデートしない」を選んだ場合はAnクライアントを上書きする方法でのアップデートもできません。
資産情報を取得する	端末の資産情報を取得します。
インストールアプリ情報を取得する ★※	端末にインストールされているアプリの情報を取得します。
位置情報を取得する ★※	・ 位置情報を前回取得から何分後に取得するか設定できます（1分・3分・10分・30分・1時間・3時間）。 ・ 「業務時間のみ取得する」を選択すると、業務時間外は位置情報を取得しません。 ・ 端末がスリープ状態の場合、位置情報は取得できません。

- ☆ … Anクライアント Ver.2.5.0.0以降の端末にのみ適用されます。
- ★ … Anクライアント(デスクトップ)が端末にインストールされている必要があります。
- ※ … Windows RT 8.1は対応していません。
(LanScope Anの対応エディションについては別紙「スタートアップガイド for Windows」を参照してください)

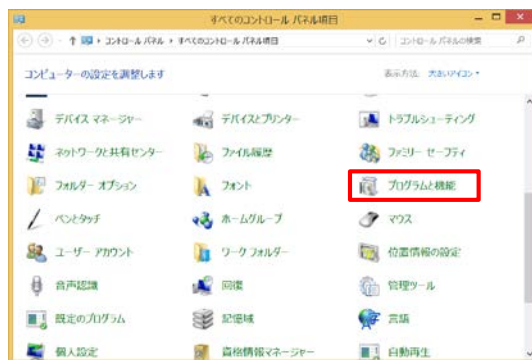
[端末側で必要な設定]

Windows端末で位置情報を取得するために、端末側で次の設定を有効にします。
設定はOSによって異なります。 ※Wi-Fi以外の設定は、デフォルトで有効になっています。

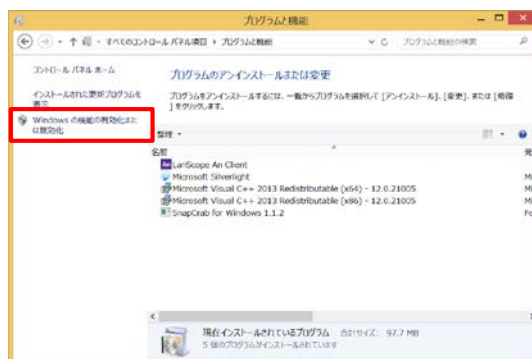
■ Windows 8.1の場合

・ 位置情報取得機能の有効化

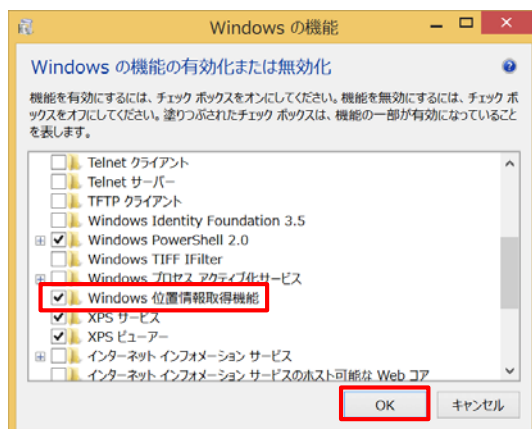
1. [コントロールパネル]-[プログラムと機能]をタップします。



2. 「Windowsの機能の有効化または無効化」をタップします。

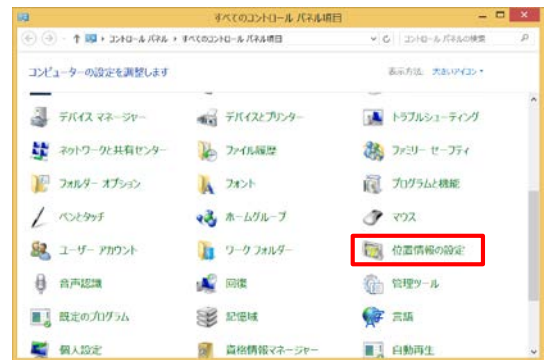


3. 「Windowsの機能」ダイアログが開きますので、一覧から「Windows位置情報取得機能」にチェックを入れて「OK」をタップします。



・ Windows位置情報プラットフォームの有効化

1. [コントロールパネル]-[位置情報の設定]をタップします。



2. 「Windows位置情報プラットフォームを有効にする」にチェックを入れて「適用」をタップします。

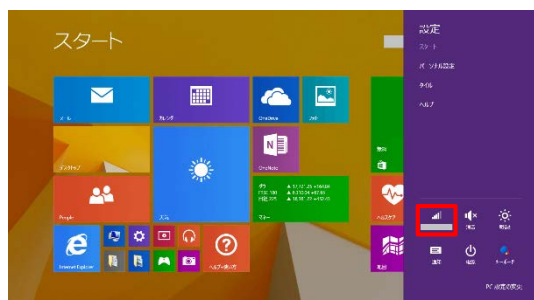


・Wi-Fiの有効化

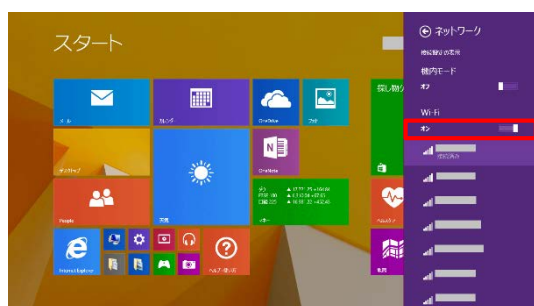
1. チャームバーの「設定」をタップします。



2. 「ネットワークアイコン」をタップします。



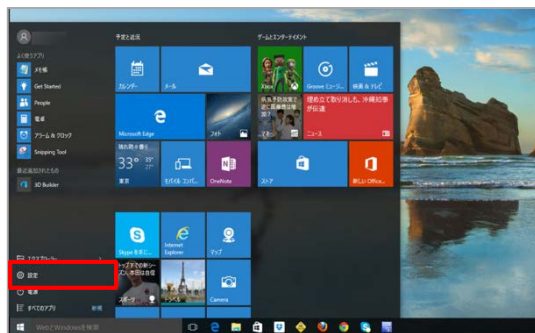
3. 「Wi-Fi」を「オン」に切り替えます。
※実際にWi-Fiに接続されていなくても位置情報
取得に影響はありません。



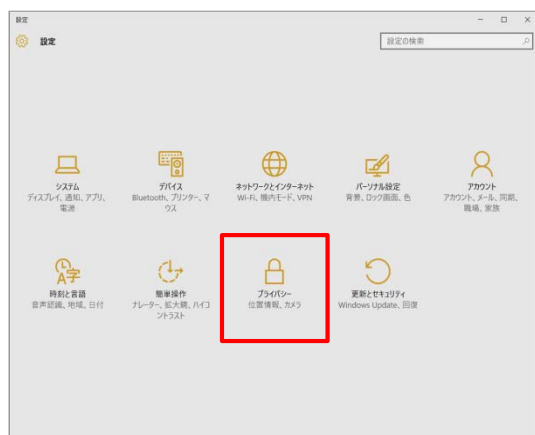
■ Windows 10の場合

・ 位置情報取得機能の有効化

1. [スタートボタン]-[設定]をタップします。



2. 「プライバシー」をタップします。



3. 「位置情報」をタップします。



4. 「変更」をタップします。

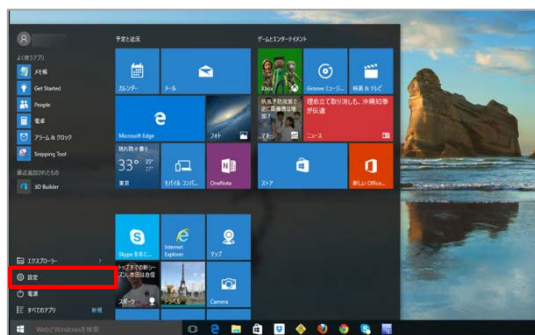


5. 「このデバイスの位置情報」を「オン」に切り替えます。

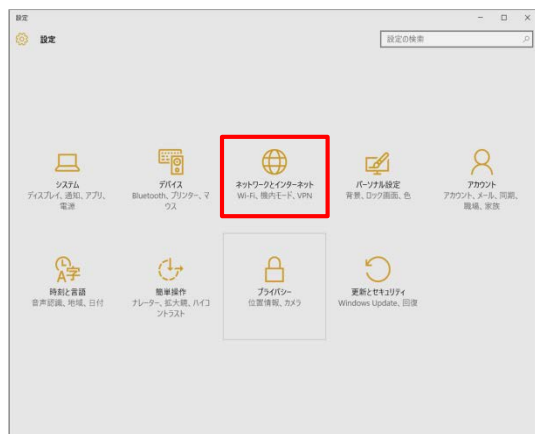


・Wi-Fiの有効化

1. [スタートボタン]-[設定]をタップします。



2. 「ネットワークとインターネット」をタップします。



3. 「Wi-Fi」を「オン」に切り替えます。
※実際にWi-Fiに接続されていなくても位置情報取得に影響はありません。



[アラート設定]

アラート内容を設定する

端末稼働や資産情報、アプリに関する情報を収集し、各端末上の変化を知ることができます。

5-1 資産のアラート内容を設定する

guide

5

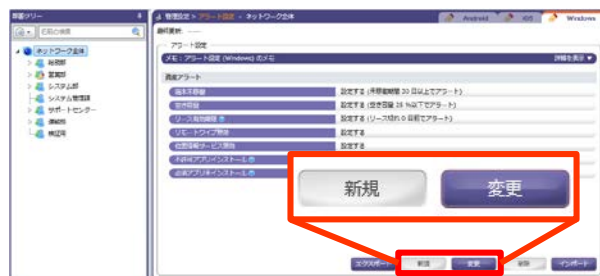
資産のアラート内容を設定する

5-1



1. 「管理設定」メニューを選択し「アラート設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると「アラート設定の作成（変更）」画面が開きます。
※部署別設定を未作成の部署のみ「新規」を選択できます。
5. 資産に関する各アラートを設定します。詳細は次ページ以降の表を確認してください。
6. 「OK」で設定を保存します。

【アラート設定】



【アラート設定の変更】



資産アラートが発生しているかどうかは、「資産管理」メニューの「資産アラート」から確認できます。

■資産アラート

チェック項目	備考
端末が一定の期間以上稼働しなかったらアラートとする	-
空き容量が少なくなったらアラートとする	-
リース有効期限が近づいたらアラートとする	[資産管理]-[資産情報一覧]の「リース期限」の設定が必要です。
リモートワイプの実行条件を満たしていなかったらアラートとする *	以下の3つの条件を満たしていない場合に発生します。 <ul style="list-style-type: none"> ・BitLocker暗号化を有効にしている ・TPM対象機種である ・回復キーを設定している 詳細は「セキュリティ機能ガイド」を参照してください。
位置情報サービスが無効になっていたらアラートとする	-
不許可アプリがインストールされていたらアラートとする	-
必須アプリがインストールされていなかったらアラートとする	-

* … Windows 8.1およびWindows 10 Homeでは対応していません。
(LanScope Anの対応エディションについては別紙「スタートアップガイド for Windows」を参照してください)

●2016/3/23以前からLanScope Anを利用している場合は、次の項目が表示されます

- **青太字部分** : Anクライアントの移行(*)が完了していれば利用しない項目・注釈です。移行完了前の端末でのみ利用・参照してください。
- **赤太字部分** : Anクライアントの移行(*)が完了している場合、仕様が異なります。移行が完了している端末の仕様については、前ページを確認してください。

*注釈 : 2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

■資産アラート

チェック項目	備考
端末が一定の期間以上稼働しなかったらアラートとする	-
Anクライアント(Windowsストア)が稼働していなかったらアラートとする	メッセージ・アンケート機能を利用するためのアプリです。
Anクライアント(デスクトップ)が稼働していなかったらアラートとする ※	位置情報取得機能、リモートワイプ機能、インストールアプリ情報取得機能を利用するためのアプリです。
端末が管理外になっていたらアラートとする ☆	MDM登録設定が解除されている場合に発生します。
空き容量が少なくなったらアラートとする	-
リース有効期限が近づいたらアラートとする	[資産管理]-[資産情報一覧]の「リース期限」の設定が必要です。
リモートワイプの実行条件を満たしていなかったらアラートとする ★◆	以下の3つの条件を満たしていない場合に発生します。 <ul style="list-style-type: none"> ・BitLocker暗号化を有効にしている ・TPM対象機種である ・回復キーを設定している 詳細は「セキュリティ機能ガイド」を参照してください。
位置情報サービスが無効になっていたらアラートとする ★※	-
不許可アプリがインストールされていたらアラートとする ★※	-
必須アプリがインストールされていなかったらアラートとする ★※	-

★ … Anクライアント(デスクトップ)が端末にインストールされている必要があります。

☆ … Anクライアント(デスクトップ)、またはAnクライアント(Windows ストア)が端末にインストールされている必要があります。

※ … Windows RT 8.1では対応していません。

◆ … Windows 8.1およびWindows RT 8.1では対応していません。

(LanScope Anの対応エディションについては別紙「スタートアップガイド for Windows」を参照してください)

●2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合は必ずご確認ください

2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合で、Anクライアントの移行を行っていない端末(*)の場合、次の注意事項があります。

* 注釈：2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

◆注意◆

Windows端末は定期的に外部ネットワークに接続し、LanScope Anの管理サーバーと通信を行う必要があります。

LanScope AnではWindows端末との通信の際、Windowsプッシュ通知サービス(WNS)を利用しています。

このサービスの仕様上、端末が30日以上外部ネットワークに接続されず、LanScope Anの管理サーバーと通信を行わなかった場合、通信に必要な通知チャネルの有効期限が切れてしまい、端末にプッシュ通知が届かなくなるため、資産情報の取得、リモートロックができなくなります。

30日以上通信がとれなかった端末は、別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照してAnクライアントを移行してください。

[不許可アプリ設定]

会社として許可/不許可のアプリを設定する

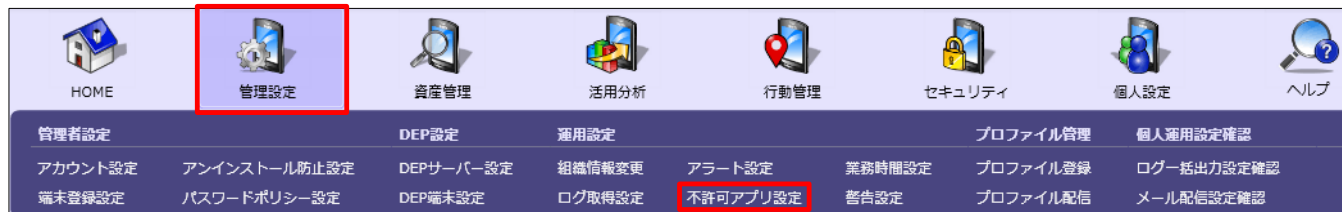
アプリを許可・保留・不許可アプリに分類します。また、社内で新たにインストール情報が取得されたアプリをどの分類に所属させるかを設定します。

- 6-1 新たにインストール情報が取得されたアプリの分類設定をする
- 6-2 インストールされたアプリの許可レベルを設定する
- 6-3 インストールされたアプリの許可設定を一括編集する

guide

6

新たにインストール情報が取得されたアプリの分類設定をする

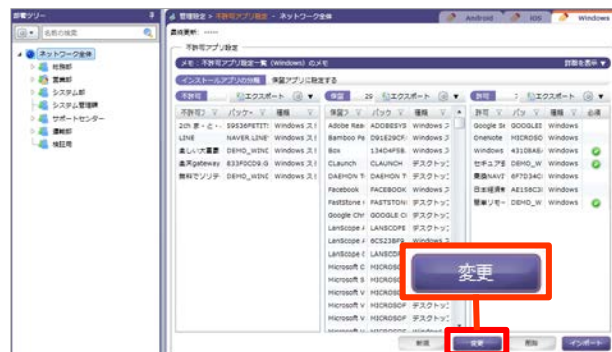


社内で新たにインストール情報が取得されたアプリについて、自動的にどの項目に分類するのかを設定します。項目は「保留」「許可」「不許可」から選択できます。

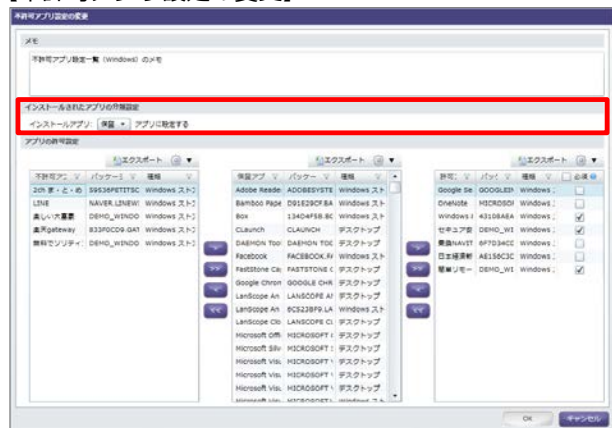
1. 「管理設定」メニューを選択し「不許可アプリ設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから「ネットワーク全体」を選択します。
※インストールされたアプリの分類設定は、部署別の設定はできません。
3. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
4. 画面下部にある「変更」をクリックすると、不許可アプリ設定の変更画面が開きます。
5. 「インストールされたアプリの分類設定」で、アプリの分類設定を行ないます。以下の設定が可能です。

- ・ 保留アプリに設定する
- ・ 許可アプリに設定する
- ・ 不許可アプリに設定する

【不許可アプリ設定】



【不許可アプリ設定の変更】



● 2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合は必ずご確認ください

2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Windows RT 8.1に関する対応状況は次のとおりです。

* 注釈：2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

- ・ **Anクライアント移行前：**
LanScope AnでWindows RT 8.1を管理することはできませんが、本機能は対応していません。
- ・ **Anクライアント移行後：**
LanScope AnでWindows RT 8.1を管理することはできません(非対応OSです)。

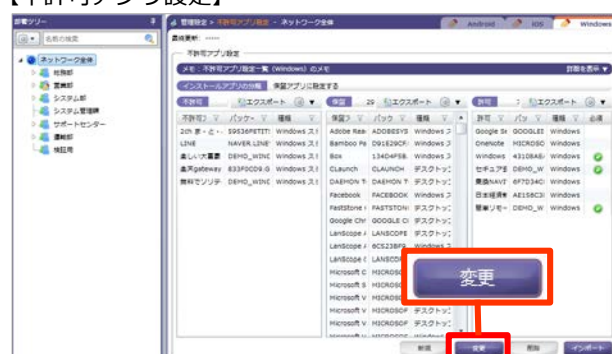
インストールされたアプリの許可レベルを設定する



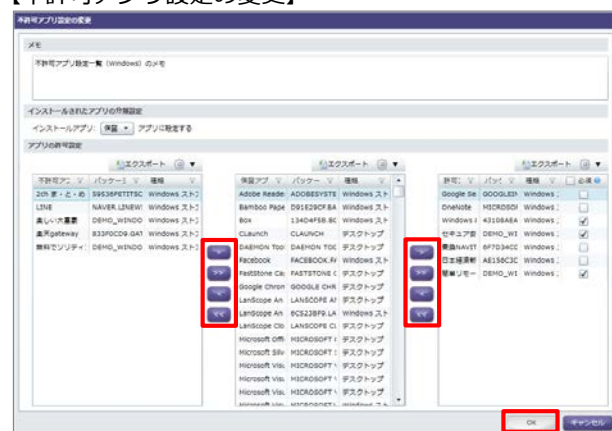
社内で既にインストール情報が取得されたことがあるアプリについて、どの項目に分類するのかを設定します。項目は「保留」「許可」「必須」「不許可」から選択できます(2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合、p.48下部もあわせて確認してください)。

1. 「管理設定」メニューを選択し「不許可アプリ設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「不許可アプリ設定の作成(変更)」画面が開きます。
※部署別設定を未作成の部署のみ「新規」を選択できます。
5. 1つずつアプリの許可レベルを設定したい場合は、該当するアプリをクリックして、「>」「<」をクリックして移動させます。複数のアプリをまとめて分類したい場合は、複数のアプリを選択し、「>」「<」をクリックして移動させます。
6. 分類されたアプリ全てを別のカテゴリに移動させたい場合(例：保留アプリを全て不許可アプリに分類する)は、「>>」「<<」をクリックして移動させます。
7. アプリの分類が完了したら「OK」をクリックして設定を保存します。

【不許可アプリ設定】



【不許可アプリ設定の変更】



●ポイント

- 「許可アプリ」に設定したアプリは「必須」欄にチェックを入れることで「必須アプリ」として登録できます。必須アプリが端末にインストールされていない場合にアラートにするには、あわせて以下の設定が必要です。
 - ・「資産アラート設定」(p.43)の「必須アプリがインストールされていなかったらアラートとする」
 - ・「警告設定」(p.52)の「必須アプリがインストールされていない」
- 「不許可アプリ」に設定したアプリが端末にインストールされている場合にアラートにするには、あわせて以下の設定が必要です。
 - ・「資産アラート設定」(p.43)の「不許可アプリがインストールされていたらアラートとする」
- ネットワーク全体と部署で設定しているアプリの分類が異なる場合、アプリ名が青色で表示されます。

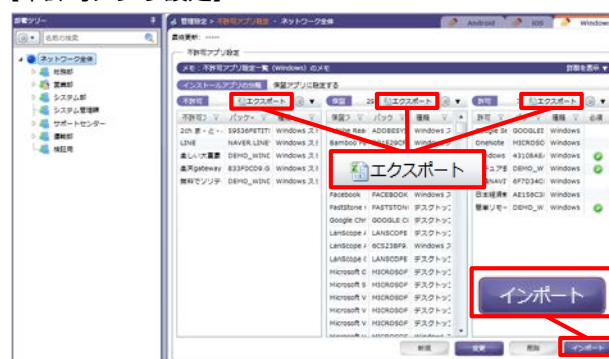
インストールされたアプリの許可設定を一括編集する



社内で既にインストール情報が取得されたことがあるアプリについて、一括で分類設定を行います。項目は「保留」「許可」「必須」「不許可」から選択できます(2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合、p.48下部もあわせて確認してください)。

1. 「管理設定」メニューを選択し「不許可アプリ設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 部署ツリーから設定を一括編集したい部署を選択します。
4. 「不許可」「保留」「許可」の中で編集したい分類の横にある「エクスポート」ボタンをクリックして編集元になるファイルを保存します。

【不許可アプリ設定】



※「パッケージ名」(アプリ名ではありません)
「種類」が表示されていない場合は、
歯車アイコンから「表示項目の設定」をクリックして、「パッケージ名」「種類」にチェックを入れてからエクスポートしてください。

5. エクスポートしたファイルをExcel上で編集して保存します。インポートする時に必要になるため、パッケージ名もあわせて編集します。

※「許可」の場合は各アプリの「必須」列に○を記入すると、そのアプリを「必須アプリ」に設定することができます。

6. 「不許可アプリ設定」画面の「インポート」をクリックします。「インポート項目の選択」画面が開きますので、「参照」から5.で編集したファイルを選択します。

インポート先を「不許可/保留/許可」から選択し、それぞれの項目を「<」「>」で紐付けてから、「次へ」をクリックします。

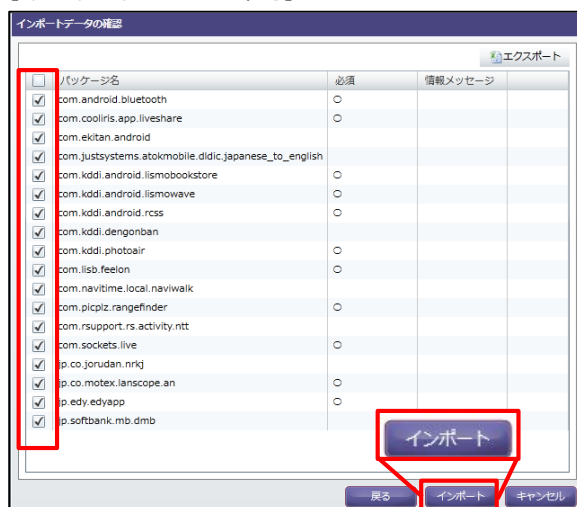
「自動選択」を選択した場合は、自動で同じ名前の列名が「ファイルの列名」から選択され「関連付ける列名」に追加されます。

【インポート項目の選択】



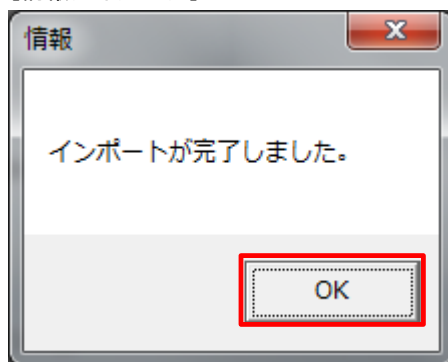
7. 「インポートデータの確認」画面が開きます。インポートしたいデータにチェックを入れて、「インポート」をクリックします。

【インポートデータの確認】



8. 情報ダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。

【情報ダイアログ】



※注意事項

以下の条件に当てはまるアプリはインポートすることができません。

- 登録されていないアプリ（どの端末にもインストールされていないアプリ）
⇒インポートデータの確認画面で情報メッセージ「登録されていないアプリが指定されています」が表示されます。
- インポートファイル内に同じアプリが存在している
⇒インポートデータの確認画面で情報メッセージ「アプリが重複して指定されています」が表示されます。

どちらも該当のアプリのインポートのチェックが自動的に外されます。
「インポート」をクリックすれば、そのまま他のアプリのインポートを続けることが可能です。

[警告設定]

端末のセキュリティ基準を設定する

セキュリティリスクの警告基準を、自社の運用にあわせて設定できます。

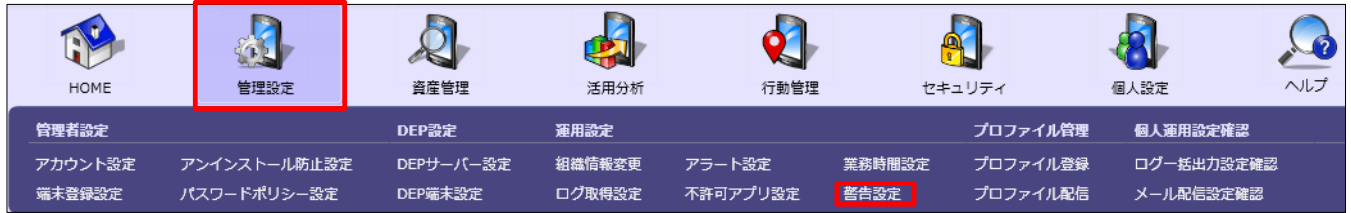
7-1 端末のセキュリティ基準を設定する

guide

7

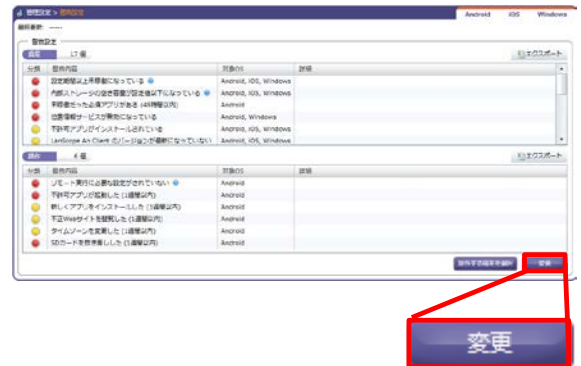
端末のセキュリティ基準を設定する

7-1



1. 「管理設定」メニューを選択し「警告設定」をクリックします。
2. 画面右下にある「変更」をクリックします。
「警告設定の変更」が開きます。
3. 警告内容の一覧が表示されるので、それぞれ「危険」「注意」「警告なし」に設定し、「OK」をクリックします。

【警告設定】



【警告設定の変更】



※注意事項

- ・「警告設定を変更する権限を付与する」の設定権限が有効になっているアカウントのみ、警告設定を変更することができます。(p.16参照)
- ・警告設定で設定した内容が、「警告端末一覧」画面の警告として反映されます。
(別紙「セキュリティ機能ガイド」参照)

■ 警告設定一覧（デフォルト設定）

区分	カテゴリ	警告判断基準	対象OS
危険	資産	設定期間以上未稼働になっている(※1)	Android,iOS,Windows
		内部ストレージの空き容量が 設定値以下になっている(※1)	Android,iOS,Windows
		未稼働だった必須アプリがある（48時間以内）	Android
		位置情報サービスが無効になっている	Android
		管理外になっている(※3)	iOS
		パスコードロックがオフになっている	iOS
		必須アプリがインストールされていない	iOS, Windows
		パスワードがポリシーに準拠していない	Android
		リモートワイプが無効になっている	Windows
		Root化されている	Android
		Jailbreakされている	iOS
危険	操作	リモート実行に必要な設定がされていない(※2)	Android
		不許可アプリが起動した（1週間以内）	Android
		SDカードを抜き差しした（1週間以内）	Android
注意	資産	不許可アプリがインストールされている	Android,iOS,Windows
		LanScope An Client のバージョンが最新になっていない	Android,iOS,Windows
		新規プロファイルをインストールした	iOS
		SIMカードの挿入状態が変化した（48時間以内）	Android,iOS
		OSバージョンが指定した範囲から外れている	Android,iOS
		設定日数以内でリース切れになる(※1) (※4)	Android,iOS,Windows
注意	操作	新しくアプリをインストールした（1週間以内）	Android
		不正Webサイトを閲覧した（1週間以内）	Android
		タイムゾーンを変更した（1週間以内）	Android

※1 未稼働日数の設定・空き容量の設定・リース期限切れ何日前にアラートとするかについてはアラート設定で行えます。

※2 リモートロック・ワイプの実行には、Android端末で以下の設定が必要です。

・LanScope An Client のアプリをデバイス管理者に登録

※3 An構成プロファイルが取り除かれた端末を「管理外」として認識します。

※4 リース期限日の設定は「資産情報一覧」の「リース期限」項目で行えます。

●2016/3/23以前からLanScope Anを利用している場合は、次の項目が表示されます

青太字部分は、Anクライアントの移行(*)が完了していれば利用しない項目です。移行完了前の端末でのみ利用します。

*注釈：2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

◆デフォルト設定◆（警告設定）

区分	カテゴリ	警告判断基準	対象OS
危険	資産	設定期間以上未稼働になっている(※1)	Android,iOS,Windows
		内部ストレージの空き容量が 設定値以下になっている(※1)	Android,iOS,Windows
		未稼働だった必須アプリがある（48時間以内）	Android
		位置情報サービスが無効になっている	Android,Windows
		管理外になっている(※3)	iOS,Windows
		パスコードロックがオフになっている	iOS
		必須アプリがインストールされていない	iOS,Windows
		パスワードがポリシーに準拠していない	Android
		Anクライアント (Windows ストア) が稼働していない(※4)	Windows
		Anクライアント (デスクトップ) が稼働していない(※5)	Windows
		リモートワイプが無効になっている	Windows
		Root化されている	Android
		Jailbreakされている	iOS
危険	操作	リモート実行に必要な設定がされていない(※2)	Android
		不許可アプリが起動した（1週間以内）	Android
		SDカードを抜き差しした（1週間以内）	Android
注意	資産	不許可アプリがインストールされている	Android,iOS,Windows
		LanScope An Client のバージョンが最新になっていない	Android,iOS,Windows
		新規プロファイルをインストールした	iOS
		SIMカードの挿入状態が変化した（48時間以内）	Android,iOS
		OSバージョンが指定した範囲から外れている	Android,iOS
		設定日数以内でリース切れになる (※1)(※6)	Android,iOS,Windows
注意	操作	新しくアプリをインストールした（1週間以内）	Android
		不正Webサイトを閲覧した（1週間以内）	Android
		タイムゾーンを変更した（1週間以内）	Android

※1 未稼働日数の設定・空き容量の設定・リース期限切れ何日前にアラートとするかについてはアラート設定で行えます。

※2 リモートロック・ワイプの実行には、Android端末で以下の設定が必要です。

・LanScope An Client のアプリをデバイス管理者に登録

※3 以下の条件に該当する端末を管理外として認識します。

・iOS：LanScope An のモバイルデバイス管理ペイロードを含む構成プロファイルが取り除かれた

・Windows：端末上でMDM登録をオフにした

ただし、Anクライアント(Windowsストア)又はAnクライアント(デスクトップ)がインストールされている場合のみ

※4 警告端末を検出するにはAnクライアント（Windowsストア）未稼働のアラート設定をオンにしてください。

※5 警告端末を検出するにはAnクライアント（デスクトップ）未稼働のアラート設定をオンにしてください。

※6 リース期限日の設定は「資産情報一覧」の「リース期限」項目で行えます。

[メール配信設定]

警告レポートメールの配信設定をする

警告設定に抵触する端末があった場合に、管理者にメールで通知するための設定ができます。

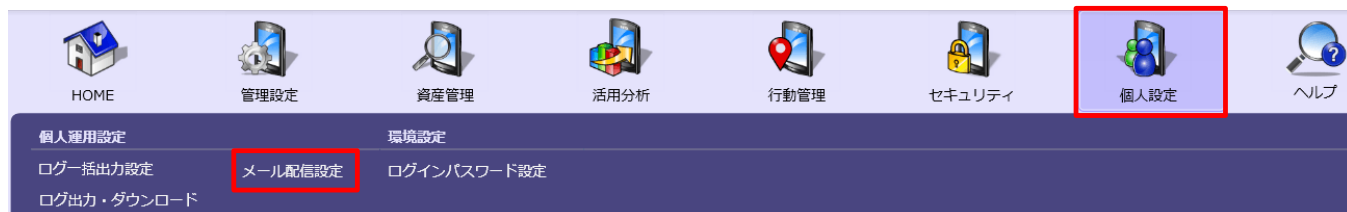
8-1 警告レポートメールの配信設定をする

guide

8

警告レポートメールの配信設定をする

8-1



1. 「個人設定」メニューを選択し「メール配信設定」をクリックします。
2. 画面右下にある「追加」または「変更」をクリックします。

【メール配信設定】



3. 「メール配信設定の追加（変更）」が表示されますので、それぞれの項目について設定を行います。設定が完了すれば「OK」をクリックします。

①設定名：

メールの配信設定に名前をつけます。

②配信種類：

警告設定の「危険」「注意」を通知するか、「危険」のみ通知するかを選択します。

③通知条件：

警告がない場合に、その旨の通知を送るかどうかを選択します。

④対象部署：

対象部署として設定した部署で発生した警告が、送信先メールアドレスに通知されます。

⑤集計単位：

端末単位で集計するか、警告単位で集計するかを選択します。「プレビュー」からイメージを確認できます。

【メール配信設定の追加】



※注意事項

- どの状態を「危険」「注意」とするかは警告設定（p.52）で設定します。
- 管理設定の各種設定が有効になっていない場合、警告内容は通知されません。
- 前日発生した警告内容を、午前1時から午前7時ごろに1回、設定された送信先に通知します。リアルタイムには通知しません。

⑥送信先：

メールの送信先を設定します(1つのメール配信設定あたり最大20件)。「追加/変更」をクリックして設定したいタブを選択し、次の通り設定します。

・「登録アカウントより選択」タブ：

[管理設定]-[アカウント設定]で管理コンソールへのログインアカウントとして設定しているメールアドレス宛に送信したい場合に選択します。送信したいアカウントにチェックを入れます。完了すれば「OK」をクリックします。

送信先一覧

送信先には登録アカウントより選択、または 任意のメールアドレスを設定することができます。

送信先 / 設定可能送信先 1 / 20

登録アカウントより選択 任意のメールアドレスを設定

アカウント (メールアドレス) アカウント表示名

<input checked="" type="checkbox"/>	@motex.co.jp	情報システム担当用
-------------------------------------	--------------	-----------

説明 設定書の表示権限に従って通知内容が作成されます。送信先には同じ内容のメールが通知されます。

OK キャンセル

・「任意のメールアドレスを設定」タブ：

管理コンソールへのログインアカウントとして登録していないメールアドレス宛に送信したい場合に選択します。「追加」ボタンから「メールアドレス(必須)」 「表示名」を設定します。設定が完了すれば「OK」をクリックします。

送信先一覧

送信先には登録アカウントより選択、または 任意のメールアドレスを設定することができます。

送信先 / 設定可能送信先 2 / 20

登録アカウントより選択 任意のメールアドレスを設定

メールアドレス 表示名

@motex.co.jp	営業部門管理担当者用
--------------	------------

説明 設定書の表示権限に従って通知内容が作成されます。送信先には同じ内容のメールが通知されます。

OK キャンセル

送信先の追加

* メールアドレス: @motex.co.jp

表示名: 営業部門管理担当者用

OK キャンセル

●ポイント

- 管理者の権限を持っているユーザーは[管理設定]-[メール配信設定確認]から全ユーザーの設定内容を確認できます。
- 管理コンソールのログインアカウントとして設定しているメールアドレスの場合、「送信先」設定欄のメールアドレス横にアイコン(🔒)が表示されます。

※注意事項

「警告レポートメールの配信設定で他のアカウントを宛先に指定する権限を付与する」の設定権限が無効になっている場合、他のアカウントを送信先として指定することはできません。

[ログ一括出力設定]

ログの一括出力設定をする

LanScope Anで取得したログを、一括で出力できます。

- 9-1 ログ出力条件を設定する
- 9-2 ログを出力してダウンロードする

guide

9

ログ出力条件を設定する

9-1



1. 「個人設定」メニューを選択し「ログ一括出力設定」をクリックします。
2. 画面下部にある「追加」（もしくは「変更」）をクリックします。

【ログ一括出力設定】



3. 「一括出力設定の追加（変更）」画面が表示されますので、出力設定名や出力期間などの設定を行います。設定が完了すれば「次へ」をクリックします。
設定内容は「■一括出力設定」の表を参照してください。

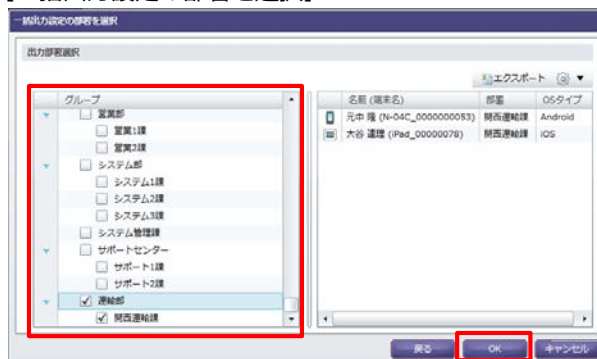
【一括出力設定の追加】



4. 部署と端末の一覧が表示されますので、出力対象とする部署（3.で出力対象を「端末指定」にした場合は端末）を選択します。

設定が完了すれば「OK」をクリックして設定を保存します。

【一括出力設定の部署を選択】

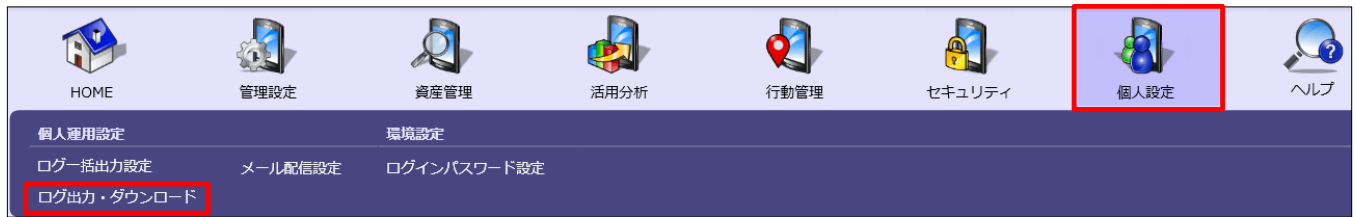


■一括出力設定

項目	概要
設定名	出力設定に名前をつけます。
ファイルの種類	CSV（カンマ区切り）（*.csv）/Excelブック（*.xlsx）から選択します。
ログ種類	操作ログ/移動ログから選択します。 ※Windows端末からは操作ログは出力できません。
出力期間	ラジオボタン、もしくはカレンダーボタンで出力期間を選択します。出力期間は最大3ヶ月間です。
出力対象	端末指定/部署指定から選択します。

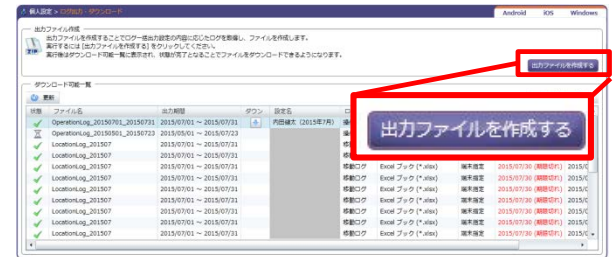
ログを出力してダウンロードする

9-2



1. 「個人設定」メニューを選択し「ログ出力・ダウンロード」をクリックします。
2. 「出力ファイルを作成する」をクリックします。
3. 「出力ファイル作成」が表示されますので、ログを出力したい条件（設定名）にチェックを入れ、「作成する」をクリックします。
4. 確認ダイアログが表示されます。問題なければ「OK」をクリックします。

【ログ出力・ダウンロード】



【出力ファイル作成】



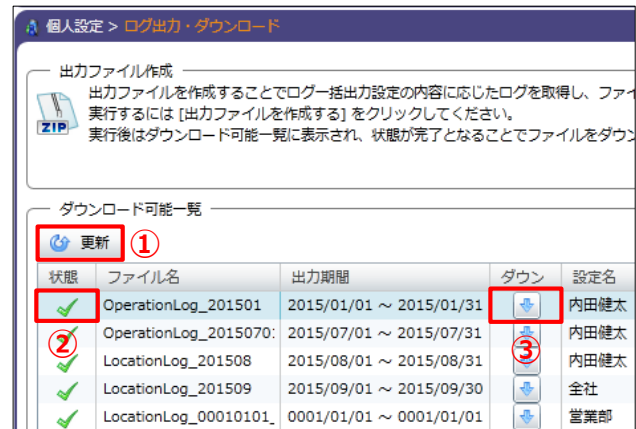
5. 「ログ出力・ダウンロード」に戻りますので、設定した条件のダウンロードファイルの「状態」欄を確認します。「更新」ボタン (①) をクリックして「状態」欄がログ出力完了 (②) になれば、ダウンロードボタン (③) をクリックしてファイルをダウンロードします。

これでログの出力は完了です。

※「ダウンロード期限」(出力ファイルを作成した日から7日後)を過ぎるとダウンロードできなくなります。その場合は再度出力ファイルを作成してからダウンロードしてください。

※管理者権限のユーザーは[管理設定]-[ログ一括出力設定確認]から全ユーザーの一括出力設定内容を確認できます。また「ダウンロード履歴確認」をクリックして、ファイルダウンロードの履歴を確認できます。

【ログ出力・ダウンロード（拡大）】



■ 状態一覧

アイコン	ステータス
	ログを出力中です。
	ログの出力が完了しました。

[アンインストール防止設定]

意図しないアンインストールが発生しないように 設定する

Anクライアント(デスクトップ)を管理者の意図に反して、アンインストールできないようにパスワードを設定できます。

10-1 意図しないアンインストールが 発生しないように設定する

guide

10

意図しないアンインストールが発生しないように設定する

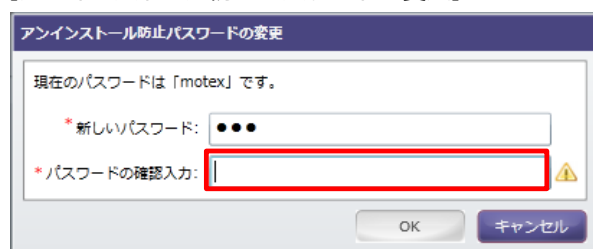


1. 「管理設定」メニューを選択し「アンインストール防止設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 画面右側にある「変更」をクリックします。
「アンインストール防止パスワードの設定」が開きます。
4. あらかじめ設定されているパスワードから変更したい新しいパスワードを入力します。

【アンインストール防止設定】



【アンインストール防止パスワードの変更】



※注意事項

- ・管理コンソールへのログインアカウントに管理者権限が付与されていない場合は、「アンインストール防止パスワード設定」は表示されません。
- ・パスワードは大文字と小文字を区別します。
- ・利用可能な文字は以下に羅列する半角英数記号文字です。※¥を除きます。
0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~

●2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合は必ずご確認ください

2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、上記以外に次の注意事項があります。

* 注釈：2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。
別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

- ・本機能はAnクライアント(デスクトップ)のアンインストールを防止できる機能です。端末のMDM登録の解除、Anクライアント(Windows ストア)のアンインストールはパスワード無しで実施可能です。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

- 操作方法、トラブル、販売、お取扱いなどのお問い合わせについては、下記のURLをご参照ください。

<http://www.lanscope.jp/an/inquiry/>

- よくあるご質問(FAQ)については下記のURLをご参照ください。

https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an

MOTEX

www.motex.co.jp